

春の交流会（二日目）

三重委員会

岡田昌孝（妙高市出身）

私は上越ネットには昨年入会させて頂きました。催し物には名古屋と大阪のサロンに参加したばかりで、交流会へは今回初めて後泊コース（十三日泊）に参加しました。

信越線の黒姫駅を過ぎた頃から残雪が多くなり、県境を流れる関川が見える妙高では、今年の豪雪を思わせるように、田んぼの中まで雪が残っておりました。それでも線路わきの日当たりの良い土手には、蒔の藁がみられ雪国の春を感じる事ができました。

上越火力発電所

この発電所は、太田前会長のご尽力で東北電力（株）と中部電力（株）が共同で開発に着手しました。現在では中部電力（株）が一ノ号系列（二一九万kw×2）の建設を進めているところでし

た。（三号系列は将来東北電力（株）が建設する予定）

今回の見学は和久井会長が前会長に話を出され実現したと伺いました。

建設事務所で上越火力建設所の伴所長さんから、スライドを見ながら発電所設備の概要を説明して頂き、その後建設現場をバスで一巡しながら（要所ではバスを降りて）説明して頂きました。

この発電所の燃料は、天然ガスをマインナス一六二℃で液化したLNG（液化天然ガス）です。液化により体積が1/600となり、輸送と貯蔵が容易となり、また、液化時に不純物が取り除かれるので、燃焼時には硫黄酸化物やばい煙が出ないうえ、二酸化炭素の排出量も石油・石炭より少なくなるとのことでした。また、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた「コンバインド発電方式」を

採用することにより発電効率が良くなり、燃料の節約、ひいてはCO2の削減に寄与することでした。

建設現場では、平成二十四年七月運転開始を目指し、現在一日一、二〇〇名程の作業員が工事に従事し最盛期を迎えておりました。外槽工事中のLNGタンクの中に入りましたが、中は直径八〇mと広々としており、めつたに見られない場所を見せて頂きました。また、LNG積槽は三〇〇mのLNG船が係留できるもので、将来はサハリンからの船の着桟も想定されるとのことでした。積槽では全員がライフジャケットを着用しましたが、ヘルメットと併せて、見学者一同慣れない保護具の着用に戸惑いながらも、安全に配慮して施工されていることを強く感じました。さらに、ガスタービンが設置されているところや、人が悠々立つことができる寸法のキャタピラを有する七五〇トンの巨大なクレーンなど、珍しいものも見せて頂き見学を終了しました。



よしかわ杜氏の郷

「酒米五百万石の特産地」、「杜氏の酒づくり技術」、「全国唯一の高校醸造科を有する町」を三本柱に設立されたことなどの説明を受けた後に、酒造りの設備を見学しました。通路に展示された法被から、私の住んでいる東海地区にも、大勢の杜氏さんが来られていることを知りました。売店には大吟醸から精米歩合九〇%まで多くの酒があり、色々と試飲させて頂きました。



試飲コーナー

宿舎 マリンホテルハマナス

柿崎上下浜温泉のマリンホテルハマナスは、第二セクター経営で、日本海に沈む夕日を楽しむことが出来るホテルですが、生憎と夕日は雲の中でした。

四階の展望風呂で日本海を眺めながら汗を流し、さっぱりしたところで宴会です。越後料理とお酒、カラオケで楽しく過ごしました。私が妙高高原の杉野沢出身と話したら、女学校時代同級だった杉野沢出身の生徒の名を知っているかと問われました。それが父の妹の長女だったことや、杉野沢出身の山川先生のことを聞かれたりなど、人の繋がりが本当に身近にあることにびっくりしました。



楽しい宴会スナップ

前島記念館

翌日は晴れて暖かくなり、ホテルから南に真白な妙高・火打ちの山々が、東には霊峰米山がくつきりと見え、絶好の行楽日和となりました。

「前島記念館」を訪ねました。

案内は、文化講演会で、前島密の業績についてお話し下さった元館長の樋口嘉和さんでした。この講演が縁で会員になって頂きました。懐かしい再会でした。館内には郵便関係を始めとする、種々の資料や記念品、写真等が展示されています。前島密は郵便の父というイメージでしたが、その業績は、海運、新聞、電信、電話、鉄道等々多岐に渡っており、改めて先人の偉業に感服させられました。



樋口さんの説明

高田城址の桜

岩間さんのお店の前を通り、お堀端の満開の桜を楽しみました。

私の住んでいる桑名市は上越地区と何かと繋がりがありました。伊勢桑名藩の三代藩主松平定重が、越後高田藩主に移封されており、ここに赴任した渡辺藩の飛び地があり、ここに赴任した渡辺藩の助が書き残した「柏崎日記」が有名になりました。戊辰戦争の鳥羽・伏見の戦いで敗れた京都所司代の桑名藩主松平定敬は、百人ほどの藩士と柏崎に来て願勝寺にて謹慎していましたが、ここに宇都宮などで官軍と戦った桑名藩士が合流し、鯨波・長岡における北越戦争へと転進しております。



やっと花見ができました

「朝市・駅前ホテルハイマート」

直江津の「三・八市」では、コゴミ、蕨の羹、板取りなど、懐かしい早春の山菜が多く見られました。雪解け水で茶色に濁った関川河口の「安寿と厨子王の供養塔」を回り、昼食に向かいました。駅前のホテルハイマートにて、駅弁甲子園（新宿京王百貨店の「元祖有名駅弁と全国うまいもの大会」の通称）で優勝した弁当「鱈めし」と、おつまみのスルメの天ぷら「する天」を美味しく頂いて、今回の交流会はお開きとなりました。



安寿と厨子王の供養塔

交流会に初めて参加するに当たり、知己がいらないことから若干の遠慮がありました。参加の皆様が温かく迎えてくれたうえ、何かにつけて親切にして頂いたことで、楽しく過ごすことが出来ました。また、思わぬ地縁の繋がりがなども教えて頂き、お陰様で実りの多い旅となりましたことを、参加の皆様には厚くお礼申し上げます。



タンク全容

